

(表3) 金融再生法開示債権の推移

(単位:億円)

		11年3月期	12年3月期	13年3月期	14年3月期	15年3月期	16年3月期	16年9月期
都銀・長信銀等・信託	金融再生法開示債権	219,450 (219,450)	203,580 (184,930)	200,080 (180,320)	283,850 (267,820)	206,800 (202,440)	138,020 (136,160)	122,180 (120,730)
	破産更生等債権	53,660 (53,660)	40,800 (37,910)	36,970 (31,800)	35,290 (32,010)	22,100 (21,610)	14,940 (14,650)	16,170 (16,010)
	危険債権	123,180 (123,180)	108,400 (100,660)	91,700 (84,850)	129,790 (122,330)	67,740 (65,820)	53,270 (51,990)	71,720 (70,680)
	要管理債権	42,610 (42,610)	54,380 (46,370)	71,410 (63,670)	118,770 (113,480)	116,960 (115,010)	69,810 (69,520)	34,290 (34,050)
地域銀行	金融再生法開示債権	119,980	114,470	136,220	148,220	146,600	127,920	115,730
	破産更生等債権	49,550	37,060	39,640	38,750	35,370	28,580	25,250
	危険債権	50,970	54,080	58,640	63,360	62,390	58,610	54,970
	要管理債権	19,460	23,330	37,940	46,110	48,840	40,730	35,510
合計(全国銀行)	金融再生法開示債権	339,430	318,050	336,300	432,070	353,390	265,940	237,910
	破産更生等債権	103,210	77,860	76,610	74,040	57,470	43,520	41,420
	危険債権	174,150	162,480	150,340	193,150	130,130	111,880	126,690
	要管理債権	62,070	77,710	109,350	164,880	165,790	110,550	69,800

(注) 1. 計数は、億円を四捨五入し、10億円単位にまとめた。

2. 都銀・長信銀等・信託の計数は、11年3月期は新生銀行及びあおぞら銀行を除き、12年3月期はあおぞら銀行を除く。16年9月期は、同年4月に普通銀行へ転換した新生銀行を含む。

3. ()内は主要行の計数であり、主要行は都銀・長信銀等・信託から新生銀行とあおぞら銀行を除いたもの。

4. 地域銀行の計数は、15年3月期以降埼玉りそな銀行を含む。

5. 15年3月期以降の計数はUFJ銀行の再生専門子会社分を含み、16年3月期以降の計数はみずほグループ各行、西日本銀行、福岡シティ銀行の再生専門子会社分を含む。